

9月の祭典行事について

熱田 神宮 宮 庁 総 務 課 名 古 屋 市 熱 田 区 神 宮 1 - 1 - 1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

歌道の隆昌を祈る

献詠祭

9月24日(日)
午後2:00
神楽殿

祭典・神事

一般公募の和歌を神前に披講して御神慮を和め奉り、併せて歌道の隆昌を祈願するお祭りを執り行います。このお祭りは明治39年の皇太子殿下(大正天皇)御参拝を記念して同44年から行われています。その後、一時中断はあったものの昭和25年に復興し、以後毎年11月3日に斎行されていましたが、平成22年より祭典日を9月第4日曜日に改定し、現在に至ります。

○当日は預選者・佳作者・一般同好者約100名の参列のもと、全国より寄せられた約1,000首の内、預選歌約10首が古式にのっとり披講されます(本年の兼題は「川」です)。なお祭典終了後には、宮庁にて選歌の講評及び当日歌会が催されます。



たわわに実った稲穂の刈り入れ

大高斎田抜穂(ぬいぼ)祭

9月28日(木)
午前11:00
大高斎田(氷上姉子神社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する、摂社氷上姉子神社の境内にある斎田で刈り入れのお祭りを行います。お祭には、なごや農業協同組合大高支店の職員も参列されます。収穫されたお米は、当神宮の諸祭典や神事にお供えされます。



秋の夜長に奉る平安の雅

熱田の杜演奏会

9月5日(火)
午後5:30～午後8:00
祈禱殿長床

行事

祈禱殿長床に特設舞台を設け、熱田の杜演奏会を執り行います。夕闇が迫るころ、境内に響き渡る荘厳な雅楽の音色は、観るものを幽玄の世界に誘います。皆様お誘い合わせの上、拝観下さい。

- ・第1部 生田流箏曲松ヶ枝会による琴と尺八の演奏
- ・第2部 熱田神宮桐竹会と当神宮職員による神楽・雅楽の演奏

○拝観無料
第一部17:30～18:00
第二部18:00～20:00(※舞台模様替の時間を含む)



七五三準備で大忙し

七五三福笹飴調製

9月14日(木)
午前9:30
文化殿講堂

行事

七五三詣を前に当神宮職員・敬神婦人会会員等約100名により、福笹飴の調製を文化殿講堂で行います。一般的には千歳飴と言われますが、当神宮では古くから「福笹飴」と称しています。お子様の無事成育を願って、青々として生命力に満ち溢れた笹の小枝に、魔除けの土鈴、白鳥を描いた絵馬、そして長寿を祈願する、長く縁起の良い紅白の飴が取付けられます。



熱田神宮宝物展

コーナー展「館蔵 近・現代作家の名品」

9月1日(金)～9月26日(火)
午前9:00～午後4:30
宝物館

宝物展示

当神宮には、古来祈りを込めてさまざまな品が奉納されてきました。現在でも篤志家、また作家自身により、多種多様な作品が奉納されています。9月のコーナー展では、横山大観・川合玉堂、平櫛田中など、近代に活躍した作家の優品や、いわゆる「人間国宝」と称される、重要無形文化財保持者の名作を一堂に展示します。(展示品数 約70点)

○入館料 ・大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金
・入館は午後4時10分まで



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

9月16日(土)
午後2:00～午後4:00
文化殿講堂

教養

[演題]
近代の神社・現代の神社
～連続性と異質性を探る～
[講師]
國學院大學准教授・博士(神道学)
藤本 頼生 氏

○聴講無料

